

プレスリリース

2025年5月20日
読売新聞グループ本社

インターネット上の情報の真正性証明技術の普及を目指す
「コンテンツ認証イニシアチブ（CAI）」に参加

読売新聞グループ本社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：山口寿一）は、インターネット上の情報の真正性証明技術の普及を目指す国際的な取り組みである、「コンテンツ認証イニシアチブ（CAI）」に参加しました。

CAIは、デジタルコンテンツの認証と来歴情報に関する技術C2PAの普及を図る団体です。写真や映像などに、作成日時、撮影者の情報や編集履歴などの来歴情報を、改ざん防止メタデータとして埋め込むC2PAは、偽画像の拡散抑制と、コンテンツの信頼性確保、透明性の向上を目的としたものです。CAIには世界中のメディア企業、カメラメーカー、IT企業などが参加しています。

偽画像・映像などをはじめとする悪意のある偽・誤情報の拡散は、生成AIの悪用によって大きな脅威となっています。健全なデジタル空間の発展に寄与すべく、読売新聞社はCAI参加に先駆けて、インターネット上のコンテンツ作成者・発信者を確認するためのデジタル技術「Originator Profile（OP）」の開発と社会実装を支援しています。CAIでの活動を通じてC2PAの普及に寄与するとともに、OPの社会実装も同時並行で進めることによって、デジタル空間の安全性はより高まると考えています。

【本件に関する問い合わせ先】
読売新聞グループ本社広報部
電話 03-3242-1111（代表）